



2917  
6





かへりてし梅川うめがわのく園うゑんのの巻まきかぬき。  
 こへまのうらみうらみから。この眼まなこハよてあふさ。逐おとりけ  
 らまていけ男おとこのまは性せいまらあはれぬどのよ別わかるがま  
 あまのこことあうふてんとあうい八郎はちろうまらどの言ことば  
 号ごうのあまぬどく病びょう氣きとあままきさのいひさだいさだ  
 ぞとあはれぬどのと。八郎はちろうまらどの中ちゆうかさる若わかしなは  
 の忠ちゆう入いりまぬのは先せん途とかへんけさ。伊い織おの  
 内うち島しま通とほともあまびさせん又また二ふたつあふさぬどの



せうきまぬんぶくさせくまふさかノそとせく  
 舟ふねのうらみ三方さんぱう四方しやうぱうは脈やく平へいが。あつらひまらうけて  
 こまていあふさぬどのもえんこの入いりむ忠ちゆう入いりら  
 あまのこことあふさぬどのよ眼まなこハよてあふさぬどのよ  
 八はち郎ろうまらどの性せいまらあはれぬどのよ別わかるがま  
 こと。あまのこことあふさぬどのよ眼まなこハよてあふさぬどのよ  
 ふびんとあふさぬどのよ眼まなこハよてあふさぬどのよ  
 まして何なにぞあふさぬどのよ眼まなこハよてあふさぬどのよ

一  
 五















入道の時ついでにけしきあてかへりませう。若しわがえらぬのお家  
のおもろりんとて。八郎やぶも家督うけつぐのおもろりんか  
きぬ本妻ほんさいあつまるてうけは八右やぶのお大和おほのお左所さしよ  
二ふたのお村むらへの楽らく居い親おやのお名な分ぶんそのおまゝまよよ孫まごをおつ  
とあつてああ知しららぬぬ花はなととめめととてて成人せいじんのおううよ  
てて六む香かう真まをを分ぶんのお家い分ぶん立た八郎やぶもも口くちづづししのお  
大和おほのお拳こぶしでで賣う買かははししるるのおいいちちづづらら。古ふる年ねん古ふる年ねんのお  
かかのお師し。ううららぶぶとと遠とほくくのおままううのおいいととて

るるきき八右やぶのお。ままのおくくととありありががこのお後あとぞぞあありりて  
よよあらあらむむ母ははのお。脈い平へいももううととささううだだりりるる。ああく  
人ひとのおこのお脈い平へいがが家い主しゅととててくくささううささううとといいふふ。ここのおよよも  
るるたた月つきのおよよとといいふふ。ここのおああききぬぬ世よのおままららううとといいふふ。後のち  
のお親おやとと親おやととすするるのおいいふふ。八右やぶのおのおくく孝かう行ぎやうつつじ  
夫あつとららめめとといいふふ。大おほのおににううけけ。貞てい女ぢよのおななとといいふふ。ここのお本ほんええ  
ああつつままのおのおももわわららととももよよ。恰た平へい六む去さううのお本ほんええ  
ああままががままのおいいんん中ちゆうへへ。ささわわぬぬとといいふふ。おおのおままのおいい

まづのほろ思ひ出せしむらへんのあつてとて  
 さい。そまふ未練の只つて。くまぐも忠  
 なる。親恩罪 仔細なるへ忠孝行がかんん梅川  
 どのも男成さぬ人孝行つく。人よこらひしめ  
 中よ貞女もまふまらう道悪ひあつまのこの海軍  
 がこつが。かろつてゆめちひてとてまじやト。次  
 よろろとてまらふ。あまひぬハそぞくしてとるく  
 あり「いふとてまらふ。あまひぬハそぞくしてとるく

あつてとてまらふ。あまひぬハそぞくしてとるく  
 までの神やわとの由利益でまらう。まらう  
 かく。こつが身のせつらまらう。まらう。まらう  
 のちうしき千秋万歳のまらう。まらう。まらう  
 と。新町のまらう。まらう。まらう。まらう。まらう  
 どん八菟江の佐吉もまらう。まらう。まらう。まらう  
 参りく。太史さぬあまの男愛のらちがあら  
 あめでこまらふ。まらう。まらう。まらう。まらう。まらう

おつま



八身



梅川

忠兵衛

合神

二

おれふんふんといふゆゑよ。つとむらひて来まし。こ  
佐吉イヤ太夫さぬあまへさくの身うけのゆはなつ  
あすうとまらうもつ。うらの間よりのひん。モモ  
あうぬ顔の半藤あつ曲ぐま。うらむさし。こりーが  
夢申佐左のつとむらひて。そのまう。長太郎が  
よるまら。夏ハるのびらちるう。とむらひか。黒亀  
ふじく。まへでまふん。とむらひのまら。あむれ  
酒とふちらうの帯がまら。忠入さぬのあむら。

送り狼とおむひのゐる。そのとぬけともあむら。  
うらみでござらう。まら。とむらひのまら。  
勤のんせ。幾次郎ハる。中より。澄文を取ら。  
幾梅川ハる。年季澄のん。めでこく。あ前入は  
まらト。こり母親うけ。あす。こり。あむら。  
うけ。あむら。今まら。さる。あむら。あむら。  
よる。あむら。あむら。あむら。あむら。  
下さる。まら。佐吉。イヤモウ。まら。あむら。あむら。

甘み。あいらづきずかしく。まよへず。内裡のエテ  
 ききしとせ。いざのまじむ。公郎。紙入りの二分  
 金。二つ。うづ。さびて。まじ。佐。無。可。也  
 あり。山。実。の。あ。い。お。サ。ヤ  
 かい。と。ま。上。且。六。幾。次。那。も。そ。い。ん。ま。そ。ん。ら  
 その。ま。あ。の。ま。ま。う。ト。三。人。お。つ。と。出。行。路。平。ハ  
 今。分。知。免。後。付。秘。し。あ。ら。る。あ。ら。公。右。の。お。花。の。壺  
 か。孫。右。の。と。会。孫。か。く。も。も。く。あ。ら。り。ハ。お。ま。る。か

流。か。ら。の。ま。じ。ひ。地。の。あ。ら。る。経。て。ま。う。め。が。バ  
 忠。美。の。ら。ま。ま。う。古。く。入。か。ぶ。る。綿。の。夜。急。か。ま。ま  
 せん。も。く。あ。ら。ら。へ。ま。ま。と。相。生。妹。脊。中。お。妻。お。衣。の  
 右。左。あ。の。ま。の。ち。嬌。き。と。母。だ。り。つ。あ。ら。ら。ま。ま  
 眼。八。身。の。逆。の。ま。だ。あ。ら。ま。の。母。と。引。り。て。伯。母。へ  
 孝。行。と。ひ。る。た。縁。と。せん。と。合。律。雪。の。降。直。登  
 む。つ。ご。の。積。も。急。の。乃。急。る。き。積。後。の。家。や。お  
 て。や。の。家。も。定。て。香。め。せ。し。う。その。梅。川。も。香

七  
 七

合禮雪降亭

二二

具<sup>具</sup>やと。目<sup>目</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>記<sup>記</sup>春<sup>春</sup>六<sup>六</sup>む<sup>む</sup>入<sup>入</sup>る<sup>る</sup>。

目<sup>目</sup>知<sup>知</sup>度<sup>度</sup>か<sup>か</sup>や<sup>や</sup>と<sup>と</sup>一<sup>一</sup>言<sup>言</sup>可<sup>可</sup>す<sup>す</sup>る<sup>る</sup>。

あ<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>ふ<sup>ふ</sup>ふ<sup>ふ</sup>あ<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>か<sup>か</sup>う<sup>う</sup>て<sup>て</sup>  
合<sup>合</sup>禮<sup>禮</sup>雪<sup>雪</sup>降<sup>降</sup>亭<sup>亭</sup>塾<sup>塾</sup>後<sup>後</sup>編<sup>編</sup>下<sup>下</sup>之<sup>之</sup>卷<sup>卷</sup>終<sup>終</sup>

